

補助事業番号 21-104

補助事業名 平成21年度 機械工業における環境問題等に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 地球産業文化研究所

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地球環境問題等について調査研究を行い、総合的な施策提言をとりまとめるとともに、それらを広く普及するシンポジウムを開催し、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

<http://www.gispri.or.jp/bicycle/jigyo.html>

基礎調査

ア すべての主要排出国が参加できる効果的な温暖化対策の国際枠組みのあり方に関する調査研究

標記調査研究を実施するために、排出クレジットに関する会計・税務論点調査研究委員会（委員長＝黒川行治・慶應義塾大学商学部教授）を設置し、調査研究を実施した。

5回開催した委員会では、国内クレジット制度をめぐる論点整理、日本環境取引機構（JCTX）の自主参加型排出量取引、国内クレジット制度における会計・税務の取扱い、試行スキームにおける排出枠の税務取扱い等議事について議論をし、また、気候変動情報の開示をめぐる動向、国内で発生する排出クレジットの発生根拠、都制度における排出量取引にあたっての具体的会計処理等の講演等も踏まえ、議論を深め、報告書を取りまとめた。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h21_1.pdf

イ 我が国における温室効果ガス排出削減対策の促進と環境ビジネスの醸成に関する調査研究

標記調査研究を実施するために、産業セクターの視点によるAR5論点調査研究委員会（委員長＝石谷 久・一般社団法人新エネルギー導入促進協議会代表理事）を設置し、調査研究を実施した。

3回開催した委員会では、学識者及び産業界代表の間でCOP15の結果について意見交換を行うとともに、IPCC・AR5・WGⅢの執筆体制のあり方について等の関連な議論が行われた。

その結果を踏まえ、I P C Cの概要と評価報告書（A R）、第5次評価報告書（A R 5）に向けた進捗状況、今後のI P C Cの活動・第5次評価報告書に対する専門家及び産業界からの意見・ニーズ、気候変動に関する政府間パネル等について、報告書を取りまとめた。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h21_2.pdf

ウ 循環型経済社会の構築のための企業戦略を考える調査研究

標記調査研究を実施するために、新しい市場経済における企業の社会的役割－CSR戦略としての環境とソーシャルビジネス－研究委員会（委員長＝井出亜夫・日本大学大学院グローバルビジネス研究科教授）を設置し、調査研究を実施した。

6回開催した委員会では、低炭素化社会への変換に向けて、企業戦略としての環境CSR（企業の社会的責任）とはどうあるべきか、また、様々な社会問題を解決すべきソーシャルビジネスとCSRはどうあるべきかについて、企業における本業を通じたCSR戦略としての環境とソーシャルビジネスの展開、ソーシャルビジネスの発展に着目して、持続可能な自然環境・社会環境構築のための新たなビジネス文化の創造について、先駆的な事例報告などを通して議論を深めた。

それらの議論を踏まえ、21世紀における市場経済と社会的存在としての企業の役割・責任、企業を取り巻く環境の変化と戦略的CSR、CSRを法的視点から考える等について報告書を取りまとめた。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h21_3.pdf

エ 循環型経済社会の構築のための企業戦略の基礎データに関する調査（委託調査）

上記の循環型経済社会の構築のための企業戦略を考える調査研究を補完するために、「CSR報告書に見る環境問題・社会問題の取組に関する調査」を特定非営利活動法人パブリックリソースセンターに委託した。

本調査では、主として大企業による事業活動（本業）を通じた社会的課題への取り組みの先駆的な事例を抽出・紹介することによって、新しい市場経済における企業の新たな社会的役割及び社会的問題への取り組みの方向性の把握に資することを目的として、有識者に対するヒアリング、日本企業に関する情報収集、国外企業に関する情報収集を行った。

http://www.gispri.or.jp/bicycle/pdf/h21_4.pdf

シンポジウム

第20回GISPRIシンポジウム「進化するCSRを探る－新しい市場経済におけ

る企業の社会的役割－」の開催状況は次のとおりである。

開催日 平成22年3月3日

会場 東京国際フォーラム ホールD7

後援 経済産業省

参加者 約160名

内容 前記ウの新しい市場経済における起業の社会的役割－CSR戦略としての環境とソーシャルビジネス－研究委員会の調査研究の成果を踏まえ、各界の有識者から、グローバル社会における企業責任と倫理、第5の競争軸サステナビリティで企業経営が変わる、欧州におけるCSR、ヒューレット・パッカートにおけるグローバルシチズンシップの取り組み、知的障がい者に導かれた企業経営と国への期待について、それぞれ講演が行われた。その後、進化するCSRを探るをテーマに、パネルディスカッションが行われた。

<http://www.gispri.or.jp/newsletter/2010/1002-2.html>

2. 予想される事業実施効果

当財団で行っている調査研究事業は、地球的視野から産業・経済と資源、環境、生活、文化との好ましい関係の在り方、地球人類の持続的繁栄を図るための地球経済社会の在り方等の地球産業文化についてのものであり、その研究成果を国の内外に広く発信している。

平成21年度に行った調査研究は地球規模で急速に変化する経済や環境に対し、グローバル且つ持続的な発展に寄与する提言及び日本の積極的リーダーシップのあり方を探求するものであり、我が国の機械工業の振興に寄与する極めて重要な効果が期待される。

また、シンポジウムの結果は、調査研究事業の結果成果とともに、今後の経済産業省等の行政機関の政策立案、産業界をはじめ広く日本社会がこの問題への関心を持ち続け、具体的な取り組みへの第一歩を促すことが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

排出クレジットに関する会計・税務論点調査研究委員会報告書

産業セクターの視点によるAR5論点調査研究委員会報告書

新しい市場経済における企業の社会的役割CSR戦略としての環境ソーシャルビジネス研究委員会報告書

CSR報告書に見る環境問題・社会問題への取り組みに関する調査報告書

第20回GISPRIシンポジウム要旨集

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人地球産業文化研究所

住所：103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町4-1番12号 日本橋第二ビル6階

代表者：専務理事 蔵元 進（クラモトススム）

（問い合わせ先 事務局長 星名定雄（ホシナサダオ））

担当部署：企画研究部（キカクケンキュウブ）、

地球環境対策部（チキュウカンキョウタイサクブ）

担当者名：企画研究部長 横山昭裕（ヨコヤマアキヒロ）

地球環境対策部長 林 宏之（ハヤシヒロユキ）

電話番号：03-3663-2500

FAX : 03-3663-2301

E-mail : info@gispri.or.jp

URL : <http://www.gispri.or.jp/>